

## 本設仕様の自穿孔ボルト ケー・エフ・シー

2025/2/5 東京

建設用ファスナーや「あと施工アンカー」の開発、販売を手掛けるケー・エフ・シー（港区）は、斜面の安定化に使える自穿孔ロックボルトシステム「ホーク・ネイリング」を開発した=写真=。

従来の自穿孔ロックボルトは、削孔時に出る切りくずの除去が不十分だったり、注入充填（じゅうてん）する薬液の被り不足などから安定した品質の確保が難しかった。新開発のシステムは①付属のケーシングを使うことで削孔壁の崩落を防ぎグラウト充填が可能②スペーサーによる定着材被りを確保③狭い箇所や人力での施工に適している④高耐食メッキによるボルトの使用で優れた防食性を確保—といった利点がある。このため、これまで仮設でしか使用できなかった施工箇所でも本設として使える点もメリット。

NETIS登録も完了しており、今後は住宅裏の斜面や路肩規制のある法面など、狭くて施工条件が厳しい箇所での補強や自然斜面の落石防護網の補強材などとして積極的な営業展開を図る考え。

←



←

←

←

←

